

| 番号 | 評価指標 | 学校としての取組や反省 | 保護者 | 教職員 | 学校 | 委員会 | 学校関係者 評価委員会のコメント | | | | | | | | | |
|------------|------|---|---|--------------|------|--------------|---|--|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | | R2年度 R3年度 | R2年度 R3年度 | | | | | | | | | | | | |
| 保護者・地域との連携 | 1 | 学校は、各種の便りや保護者会などを通して、どんな子どもを育てようとしているかを分かりやすく伝えている。 | 3.25 | 2.85 | | | <p>○コロナ禍で学校と地域の交流ができず、先生と保護者、地域が本音で話せる機会がなくなってきていると感じる。このような中、学校・先生方はよくやってくださっている。</p> <p>小規模、へき地校ならではの良さを大切にしていきたい。</p> <p>○農協等に児童生徒の作品が掲示されていると嬉しくなる。子どもたちの作品を地域の施設に掲示したり、メディア等で紹介したりすることは、地域の活性化にも繋がるので今後も取り組んでいってほしい。</p> <p>○現場の先生方が頑張っておられることはよく分かります。保護者アンケートの内容の中には、厳しい内容もありましたが、前向きに改善していただけたらありがたいです。</p> | | | | | | | | | |
| | 2 | 学校は、保護者や地域の願いに応える教育活動を積極的に行っている。 | 3.16 | 3.17 | 保護者 | R2年度 | | | | | | | | | | |
| | 3 | 学校は、学校行事や参観日等で、保護者や地域住民と意見の交流ができる機会を適切に設けている。 | 3.27 | 2.80 | | R2年度 R3年度 | | | | | | | | | | |
| | 4 | 学校は、学校のホームページやフェイスブック、地域での作品展示やマスコミ等を利用した広報活動に取り組んでいる。 | 3.21 | 3.13 | 3.24 | 3.23 | | | | | | | | | | |
| | 5 | 学校は、各種の便りや電話連絡、保護者会・家庭訪問等を通して、子どもの様子をつたえるなど家庭と連携を図っている。 | 3.31 | 3.10 | 3.24 | 3.22 | | | | | | | | | | |
| | | <p>○年度初めからのコロナ禍の中で、PTA総会や地区懇談会中止など、保護者との連携を図る場が少なくなった。学級懇談や家庭訪問再開を含め意見を聞く機会を増やした。密を避ける形での学校行事を試行錯誤しながらではあるが行うことができた。</p> <p>令和4年度から本校もコミュニティースクールとして、地域とともにある学校づくりを行っていくため、今年度末に体制を整えて準備していきたい。</p> <p>○コロナ禍の中、地域と連携してキャリア教育を行うことができた。全国へき地教育研究大会についても規模縮小にはなったが、多くの参加者を迎えて成功することができた。</p> <p>○家庭教育学級の取組がコロナにより中止になった事業もあった。視察研修や文集あさぎり作成を行うことはできた。</p> <p>○新聞や学校通信「どんタロ」、ホームページを通して、学校の様子について学校外に発信した。</p> <p>JAIに子どもの作品を展示して、子どもの頑張りを発信していった。また、作文や短歌、一行詩の応募等に参加して、子どもの心を育てるとともに、たくさん入賞することができた。</p> <p>今後も、マスコミ等を利用した広報活動に取り組んでいく。</p> | 3.02 | 3.04 | 3.07 | 3.30 | 3.27 | 3.10 | 3.27 | 3.43 | 3.52 | 教職員 | | | | |
| 小中一貫教育 | 学力向上 | 6 | 学校は、幼小中一貫教育校のよさを生かした指導体制づくりを行っている。 | 3.42 | 2.65 | 保護者 | | <p>○先生方がわかりやすい授業を行ってくださり、学習者が集中して学習することができている。そのため、確かな学力が身に付いている。へき地校の環境面から学習塾等に通うのは困難であるため、これからも分かる授業をお願いいたします。</p> | | | | | | | | |
| | | 7 | 学校は、子どもが主役の「分かる！できる！」授業づくりに努めるとともに、家庭学習を支援している。 | 3.26 | 3.00 | 3.21 | 3.26 | | | | | | | | | |
| | | <p>○中学校教育員の小学校への乗り入れ授業を実施した。特別支援教育に関しても支援体制を状況に応じて工夫しながら、個に応じた指導の充実にも努めた。課題を整理しながら改善していきたい。</p> <p>○子どもが主体的に活動できるようにし、児童生徒間で学び合いができるような授業展開を心がけてきた。今後は、自主的な学習につながる仕掛けが必要であり、家庭との連携を行いながら学力向上に努めていく必要がある。また、コロナ対応も含めたオンライン学習やタブレット持ち帰りによる学習について、整理しながら取り組んでいきたい。</p> | 3.09 | 2.95 | 3.11 | 2.80 | 3.11 | 3.55 | 3.26 | 3.00 | 3.21 | 3.11 | 3.26 | 3.00 | 3.21 | 3.11 |

| 番 号 | | 評 価 指 標 | 学校としての取組や反省 | 保護者 | 教職員 | 学校 | 委員会 | 学校関係者 評価委員会のコメント | |
|----------------------------|---|---------|---|---|------|------|-------------|--|------|
| 小 中 一 貫 教 育 | 縦 の 人 間 関 係 を 生 か し た 活 動 や 行 事 の 充 実 | 8 | 学校は、縦の人間関係を生かした活動など、幼小中一貫教育校のよさを生かして、キャリア教育の充実に努めている。 | ○児童生徒会が中心となり、自主的な朝の活動に取り組んでおり、特に挨拶を元気づけられる児童生徒が多くなってきた。また、ファミリー班での花壇の草抜きや水やりなどは、上級生の指示で行えるようになってきた。さらに、縦割りの人間関係を生かした活動を呼びかけていきたい。 | 3.29 | 2.80 | 保護者 3.26 | ○コロナ禍の中、地域と連携してキャリア教育を行うことができた。全国へき地教育研究大会についても規模縮小にはなったが、多くの参加者を迎えて成功することができた。 | |
| | | 9 | 学校は、一人一人を大切にし、いじめのない集団づくりに努め、子どもが活躍する場を設定している。 | ○校内研究をキャリア教育を柱にして、身に付けさせる資質・能力と核となる体験活動を調整しながら取り組んだ。今後、活動内容が、社会で求められる資質・能力とつながっているかを検証し、一人一人が自己の未来を生き抜くための力を付けられるようにキャリア教育の推進を図る必要がある。 | 3.25 | 3.04 | 3.26 | | 3.80 |
| そ の 他 | | 10 | 学校は、思いやりの心やルールを守る態度、協調性など、心を育てる学習活動を適切に行っている。 | ○命について考える授業や人権集会を行った。また、コロナの状況により集会、動画、ズームを利用して発達段階に応じた食育指導や健康教育、健康安全指導の取組を行った。 学園生一人一人の理解を高め、組織的に対応するために毎週ブロック部会を開催した。月1回のハートフル委員会では、報告の仕方を工夫しながら共通理解を図り、生徒指導の充実に努めた。 | 3.22 | 2.95 | 保護者 3.30 | ○少人数の学校ではあるが、家庭にそれぞれの問題や課題を抱えている子どもたちもかなりいる。見守り、支援をしながら子どもたちのより良い成長につなげていけるようにしてほしい。 | |
| | | 11 | 学校は、情報・安全教育や性教育、食育など、生命や健康について学ぶ学習活動を適切に行っている。 | ○オンラインを活用した行事に取り組んだり、実際に他校とリモート接続して学習を進めた。オンラインによる韓国交流も2年ぶりに取り組むことができた。 校内のICT環境の整備もすすめられている。タブレットの持ち帰りによる学習も試行されて、ICTを利用した学習活動をさらに充実させていきたい。 | 3.23 | 3.39 | 3.31 | | 3.75 |
| | | | | | 3.38 | 3.20 | 教職員 3.08 | | |
| 評価委員から出された その他の意見や要望等 | | | ○ 学園生の活動が新聞に多く掲載されるのでとても嬉しいです。ホームページやどんタロを通して南学園のことを知れてとてもありがたいです。 ○ コロナのため、学校行事の中止や縮小などで学園を訪れることがなく残念でした。そのような中、少しずつは平静さを取り戻しつつあるので、これまでの行事等が実施できるようになるとよい。元気な子どもに会えることは楽しみです。 ○ 義務教育学校と小中一貫教育校との違い、良さが明確に理解できるようにして欲しい。 | | | | | | |
| 校 長 所 見 | | | 重点目標である「幼小中一貫教育の良さを生かした学校づくり」についての評価において、保護者の評価が伸び悩んでいる。幼小中一貫教育に関する取組について、保護者に伝えるようにしていきたい。 南学園の様子についての情報発信など、コロナに関係なく実施できることを積極的に行っていきたい。 | | | | | | |